

I

卒業要件単位数

1 卒業要件単位数 各学科における卒業要件単位数、および各分野における規定単位数は、第1表のとおりである。

第1表 卒業要件科目および単位数

分野・区分			国文学科			英文学科			芸術学科			
			区分別 必要単位数 (A)	Aを超えて 修得した場合の 自由選択算入 上限単位数		区分別 必要単位数 (A)	Aを超えて 修得した場合の 自由選択算入 上限単位数		区分別 必要単位数 (A)	Aを超えて 修得した場合の 自由選択算入 上限単位数		
共通科目	必修科目	WRD	4		4		4					
		文芸講座	2		2		2					
	選択科目	教養科目	16	→	18	16	→	18	16	→	18	
		外国語科目	学部共通 外国語	12	→	12	14	→	12	12	→	12
			特選外国語	0	→	18	0	→	18	0	→	18
	キャリア科目	0	→	4	0	→	4	0	→	4		
学科科目	必修科目		36		28		26					
	選択科目	演習科目	12	→	20	→	12	→				
		実習科目	-		注) AB12、 AP8		-					
		講義科目	12		8		16					
		特殊講義科目	-		注) CP4、 一般講義4		4					
	自由科目		0	→	8	-	→	6	-			
自由 選択	文芸学部他学科科目		30	←	文芸学部他学科科目		30	←				
	他の各区分からの算入単位				他の各区分からの算入単位				32	←		
合計			124		126		124					

注) 英文学科(選択科目): 「AB」は、アカデミック・ベシックス科目の略。「AP」は、アカデミック・プラクティス科目の略。「CP」は、クリエイティブ・プラクティス科目の略。

履修規定

分野・区分			文化史学科			マスコミュニケーション学科			ヨーロッパ文化学科			
			区分別 必要単位数 (A)	Aを超えて 修得した場合の 自由選択算入 上限単位数		区分別 必要単位数 (A)	Aを超えて 修得した場合の 自由選択算入 上限単位数		区分別 必要単位数 (A)	Aを超えて 修得した場合の 自由選択算入 上限単位数		
共通科目	必修科目	WRD	4		4		4					
		文芸講座	2		2		2					
	選択科目	教養科目	16	→	18	16	→	18	16	→	18	
		外国語科目 学部共通 外国語	*英語4単位を 含む	12	→	12	12	→	12	16	→	12
			特選外国語	0	→	18	0	→	18	0	→	18
		キャリア科目	0	→	4	0	→	4	0	→	4	
学科科目	必修科目		16		24		25					
	選択科目	演習科目	16		—		16					
		実習科目	2	→	16	2	→	16	4	→	16	
		講義科目	28		36		4					
		特殊講義科目	—		—		4					
	自由科目	0	→	8	0	→	2	0	→	8		
自由 選択	文芸学部の他学科科目		32		32		29					
	他の各区分からの算入単位			←		←		←				
合計			128		128		124					

2 自由選択

自由選択とは、卒業要件単位数のうち、必修科目（「WRD」、「文芸講座」、「ゼミナール」および「自学科必修科目」）を除く文芸学部の全授業科目（他学科科目を含む）の中から、自由な選択によって単位を修得することをいう。

自由選択の修得単位として取り扱われる単位は以下の通り。

- ① 他学科の科目（ゼミナールを除く）の修得単位。履修に当たっては、各学科の【履修規定】が適用されるので、確認のうえ、履修すること。
- ② 必修科目を除く各区分で、規定単位数を超えて修得した単位。点線内の数字は、それぞれの区分において自由選択の卒業要件単位として算入することのできる単位数の上限である。これを超えて修得した単位は余剰単位として取り扱う。

※自由選択の卒業要件単位数を満たすための、①と②の内訳は問わない（①のみ、または②のみで卒業要件単位数を充足することも可能）。

【修得単位の取り扱い例】 ※余剰単位…卒業要件に入らない単位

